

**いしかわ食育推進委員会構成団体の
『令和 7 年度食育事業報告及び
令和 8 年度食育事業計画』**

目次

取組事業	団体名
①	金沢学院大学
②	北陸学院大学
③	(福) 石川県社会福祉協議会保育部会保育士会
④	(一社) 石川県私立幼稚園協会
⑤	いしかわ農業振興協議会
⑥	石川県農業協同組合中央会
⑦	石川県漁業協同組合
⑧	(公社) 石川県食品衛生協会
⑨	(公財) いしかわ結婚・子育て支援財団
⑩	(一社) 金沢市中央市場運営協会
⑪	石川県生活協同組合連合会
⑫	(特非) 消費者支援ネットワークいしかわ

取組事業	団体名
⑬	石川県高等学校長協会
⑭	石川県料理学校協会
⑮	石川県 P T A 連合会
⑯	石川県食生活改善推進協議会
⑰	(公社) 石川県栄養士会
⑱	(公社) 石川県調理師会
⑲	(公社) 石川県看護協会
⑳	石川県婦人団体協議会
㉑	(一社) 石川県歯科医師会
㉒	石川県農業法人協会
㉓	石川県栄養教諭等研究会
㉔	(公社) 石川県薬剤師会

令和7年度食育事業報告及び令和8年度食育事業計画

団体名

金沢学院大学 栄養学部 栄養学科

①-1

事業名	大学生・短大生による高校生への食育事業						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑭若い世代に対する食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	(1) 授業実施者 栄養学部栄養学科 2年生16名、3年生17名、4年生4名 計37名 (2) 実施日程 ・石川県立大聖寺実業高等学校 9月4日 2年生3クラス ・金沢学院大学附属高等学校 9月5日 1年生2クラス ・石川県立加賀高等学校 12月3日 2年生1クラス、3年1クラス ・石川県立金沢西高等学校 12月15、17日 1年生9クラス ※うち2クラスは学級閉鎖のため未実施 ・石川県立明和特別支援学校 12月22日 1年生1クラス (3) 授業内容 食育に関する県民意識調査結果を踏まえ、主食・主菜・副菜をそろえた食事形態と五大栄養素のバランスとの関連についてクイズを交えながら理解を深める内容とした。 また、日常的なカルシウム摂取量のセルフチェックを行い、不足しがちな栄養素に気付くことで、食生活を見直す機会とした。さらに、普段生徒が食べている食事をICT活用したワークと取り入れることで、栄養バランスの観点から、食習慣や食事内容を振り返り、自己の食生活の課題について改善点について考えることができる内容とした。特別支援学校の取組については別途報告する。
成果、所感等	大学生による授業は、普段の授業よりも生徒の関心が高まっていたとの評価を高校教諭から得た。事後アンケート結果からは、授業内容の理解や実践意欲の向上がうかがえ、セルフチェックやワークを通して、今後の食生活を見直す機会を作ることができたと考えられる。また、参加学生全員が、本事業の経験は今後の学びに役立つと回答しており、ピア・エデュケーションによる教育的効果が示唆された。

○令和8年度食育事業計画

内 容	(1) 実施時期および対象 石川県内の公立/私立高等学校（時期未定） (2) 取組内容 高校生の食生活等に関するアンケート結果や、食育に関する県民意識調査結果の内容を踏まえながら、朝食の重要性や栄養バランスについて理解が深まるようにする。 また、自己の食生活の課題に気付き、改善しようとする実践意欲を持たせる工夫を取り入れた内容とする。
・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等	

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	高等学校ホームページや学校Instagramによる食育事業内容の情報発信
他団体と連携したい取り組み	・石川県高等学校PTA連合会広報による食育事業内容の情報発信 ・学校近隣や利用駅構内の飲食店と連携し、「高校生応援栄養バランス朝ごはん」の提案・販売（1品で主食・主菜・副菜摂取が可能な軽食・テイクアウト商品で朝食摂取頻度向上）

事業名	大学生・短大生による高校生への食育事業						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑭若い世代に対する食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	(1) 授業実施者 栄養学部栄養学科 4年生4名 (2) 実施日程 石川県立明和特別支援学校 技術産業コース1年1クラス8名 (3) 授業内容 生徒が日常の食事と自分の食事の健康とのつながりに気付き、栄養バランスを考えた食品選択能力を育成することをねらいとして実施した。内容は3色食品群をそろえた食事をテーマとした。軽度の知的障害のある生徒を対象としていることから、大型テレビにスライド資料を提示し、食品のもつ働きをキャラクターと簡潔な言葉を用いて説明した。導入では3色食品群をそろえた料理の組み合わせについてクイズ形式で理解を深めた。その後、「そのまんま料理カード」（群羊社）を用いたワークを行い、生徒が栄養バランスを意識しながら料理を選択できるよう支援した。身近な料理を題材とすることで、日常の食事場面と結び付けられるよう工夫した。
成果、所感等	料理カードを用いた活動は、生徒にとって身近な食を題材とすることで、関心を高め、食事の組み合わせについて考え、表現し、共有する学習につながったと考えられる。一方で、3色食品群については理解できていても、実際に料理を選択する場面で、困難さを感じる生徒も見られたことから、個別的な支援を必要とする生徒がいることを前提とした教材研究や支援の在り方を検討する必要がある。また、授業内容の学習難易度については、事前に特別支援学校の教員と十分な情報共有をした上で検討することで、より生徒の実態に即した実生活に結びつく学習につながると考えられる。さらに、参加した学生のアンケート結果からは、「活動や問いかけを通して生徒の主体的な参加を引き出すことができた」ととらえていることが示唆され、生徒・大学生の双方にとって意義のある学習機会となった。

○令和8年度食育事業計画

内 容	(1) 実施時期および対象 石川県内の公立特別支援学校（時期未定） (2) 取組内容 生徒が日常の食事と健康とのつながりに気付き、栄養バランスを意識した食品選択への理解を深め、日常生活での実践意欲を持たせる工夫を取り入れた内容とする。 高校生の食生活の実態に即した題材をテーマに、料理カード等の視覚的教材を用いてクイズやワークを取り入れた体験的な学習を行い、生徒が身近な食事場面と結び付けて理解できるようにする。
-----	--

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	・ 高等学校ホームページや学校Instagramによる食育事業内容の情報発信
他団体と連携したい取り組み	・ 石川県高等学校PTA連合会の広報による食育事業内容の情報発信 ・ ファストフード店への副菜バランスアップサイドメニューの提案

事業名	かほく市 生涯学習フェスティバル（健康まつり）						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	【目的3】 (5) ⑮健康寿命の延伸につながる食育の推進 (6) ⑲食育の推進に関する情報提供						

○ 令和7年度食育事業報告

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	1. 取組内容 かほく市からの依頼により官学連携事業の一環として協働実施された「生涯学習フェスティバル」に於いて、市民の健全な食生活を実践するための食事チェック&アドバイスをSATシステム器機を活用し、市民の栄養相談を4年生7名が担当した。 SATシステム器機の活用は、参加者が昨日食べたメニューを料理や食材のフードモデルから選択し、コンピュータにより算出された栄養素について、各個人に合わせた栄養改善のアドバイスを行うものである。
	2. 開催日 令和7年10月26日（日） 3. 会 場 かほく市河北大体育館（かほく市遠塚口47番地1） 4. 対象者 かほく市民（SAT体験者数：204名） 5. その他 大学側からの協力 ①食育SATシステム器機貸出 ②学生（4年7名） ③教員2名
成果、所感等	「生涯学習フェスティバル」での市民への栄養改善アドバイスは混雑するため、栄養士としての知識が付いた4年生に担当させることが良い結果に繋がり、かほく市職員の方から学生一人一人が住民に寄り添った丁寧な対応であったとの住民の声が寄せられたことの報告を受けた。また、自分の食生活を変えるきっかけとなったとの意見が聞かれた。



○ 令和8年度食育事業計画

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	令和8年10月25日（日）実施予定 令和7年度と同様事業
○ 他団体との連携(協力)	
他団体と連携可能な取り組み	—
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	能美市立小学6年生へのSAT食育講習会						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	【目的1】 (1) ③ 子どもの基本的な生活習慣の形成 (2) ④ 体験型食育の推進						

○令和7年度食育事業報告

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	1. 取組内容 能美市からの依頼により官学連携事業の一環として協働実施された小学生の食育事業について、SATシステム器機を活用し、普段の食事内容をチェックし、自分の食事について考え振り返るきっかけとする。 また、結果については、栄養学科3年生8名によりアドバイスを実施した。SATシステム器機の活用は、参加者が昨日食べたメニューを料理や食材のフードモデルから選択し、コンピュータにより算出された栄養素について、各個人に合わせた栄養改善のアドバイスを行うものである。
	2. 日 時 令和7年10月15日（水）10時30分～12時30分 3. 会 場 能美市立福岡小学校 体育館 4. 対象者 小学6年生38名 教員・その他5名 5. その他 大学側からの協力 ①食育SATシステム器機貸出 ②3年生8名 ③教員2名 テレビ撮影あり
成果、所感等	小学生の食育事業としてSATシステム機器を使用することは、「見る・さわる・重量を感じ取る・結果が直ぐ得られる」など利点が多い。 管理栄養士として小学生にアドバイスする機会を得られたことは、学生にとって貴重な経験である。能美市職員の方から学生が小学生に寄り添い丁寧なアドバイスをしていたと感謝の言葉があった。



○令和8年度食育事業計画

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	—
○他団体との連携(協力)	
他団体と連携可能な取り組み	—
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	①こまつ里山ファーマーズマーケット 実施：ミッション食育グループ						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳 代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(4) ⑪ 消費者と生産者の交流の促進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	取組内容 小松市の里山の恵みや環境を活かした農作物をPR・販売し、生産者と消費者のコミュニケーションの場とすることを目的として活動を実施した。学生は小松市との連携でつくられた酒粕スイーツを出品、販売した。活動で得られた売上の一部は、能登半島震災・豪雨被害支援寄付金として寄付された。 日 時：2025年9月21日（日） 場 所：木場潟公園東園地 対 象：地域住民 連携先：小松市
成果、所感等	学生自らが焼成・ラッピングした酒粕スイーツを販売することで、小松市の特産物である酒粕の魅力を伝えることができた。地域住民の方々とコミュニケーションを図り、商品を手にとって喜んでいただけたことは、地域に貢献する活動の意義を実感する貴重な機会となったと考える。

○令和8年度食育事業計画

内 容	内容は未定だが、小松市と連携し、地元食材や里山ならではの農作物を活かした商品の物販を行い、地域活性化をねらいとした食育活動を実施する予定である。	
他団体と連携可能な取り組み	他団体と連携	イベントにおける栄養学を学ぶ学生による食育ブース出展
他団体と連携したい取り組み	他団体と連携	—

事業名	②こまつ里山地域食堂							実施：ミッション食育グループ	
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上		
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(3) ⑨ 食文化に関する情報の収集と発信								



○令和7年度食育事業報告

内 容	取組内容 小松市滝ヶ原地区を拠点とし、フィールドワークを中心に地元食材・食文化に触れ、その活用について検討を行った。また、これらの活動をふまえ、地域の食材や旬の食材を活用した献立提供による里山料理の魅力発信および食堂の運営を行った。 日時：2025年8月27日（水） 2026年2月26日（木）（ワークショップ） 2025年11月8日（土）（食堂運営） 場所：里山自然学校（こまつ滝ヶ原） 対象：地域住民（50名） 連携先：小松市
成果、所感等	地域の食材や食文化を取り入れた食事を地域住民の方々に提供することで、地域の魅力を発信するとともに、食を通じた交流の場をつくることができた。 また、50食分の大量調理を経験したことで、衛生管理や温度管理などの重要性を実践的に学ぶことができた。 さらに、昨年の活動経験を活かしながら、より効率的に調理を進めることができ、学生の成長を実感できたことも大きな成果であったと感じる。

○令和8年度食育事業計画

内 容	- 取組内容 - 時期 - 場所 - 対象 - 連携団体 等 内容は未定だが、小松市と連携し、小松の特産物を活用し、食文化の継承や地域活性化をねらいとした食育活動を実施する予定である。
他団体と連携可能な取り組み	栄養学を学ぶ学生との調理体験の場の提供
他団体と連携したい取り組み	—

○他団体との連携(協力)

事業名	③小松とまと食育 実施：ミッション食育グループ						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(2) ④ 体験型食育の推進 (1) ② 食を楽しむ力（知る・育てる・選ぶ・調理する・食べる）の育成						



○令和7年度食育事業報告

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等	取組内容 小松市とまと等農作物食育プログラムの支援事業として、小松市の特産品であるトマトや人参を活用した食育講座を実施した。講話やクイズ等を通じて食材への理解を深めるとともに、地元農作物を使用した調理実習を行った。 日時：①2025年 8月19日（火）、2025年8月22日（金） ②2025年12月14日（日）、2026年1月18日（日） 場所：①第一児童クラブ3、安宅・牧児童クラブ ②小松市芦城センター 対象：①児童クラブに集う児童 ②地域住民（親子） 連携先：小松市
	成果、所感等 活動を通して、参加者の食材に対する関心や理解を深めることができた。クイズや調理実習などの体験を取り入れることで、楽しみながら学べる機会を提供するとともに、地産地消の促進や地域活性化につながったと考えられる。 また、親子参加型のプログラムでは、親子で協力しながら調理する機会を設けることができ、家庭における食育の推進を図ることができたと感じる。

○令和8年度食育事業計画

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等	内容は未定だが、小松市と連携し、小松の特産物を活用し、地産地消を促進し、地域活性化をねらいとした食育活動を実施する予定である。
○他団体との連携(協力)	
他団体と連携可能な取り組み	栄養学を学ぶ学生との調理体験の場の提供
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	④夏休みキッズクッキング（内灘町との食育事業） 実施：ミッション食育グループ						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(1) ② 食を楽しむ力（知る・育てる・選ぶ・調理する・食べる）の育成 ③ 子どもの基本的な生活習慣の形成						



○令和7年度食育事業報告

内 容	取組内容 内灘町と連携し、夏休みの食企画としておやつが成長期の身体に必要なことを知り、考えて食べることができるようになることをねらいとして食育活動を実施した。学生は、夏場によく飲む清涼飲料水に含まれる砂糖の量に関する食育クイズをしたり、おやつについての話をしたあと、簡単に作れるおやつのレシピを紹介して、みんなで楽しく調理実習を行った。 日時：2025年8月 1日（水）13:00～15:00 試作・打合せ 2025年8月13日（水）8:30～12:30 準備・実施 場所：内灘町健康センター 対象：小学生18名 連携先：内灘町
成果、所感等	大学生は小学生に説明することで改めて理解することができ、綺麗に作ることで子供が楽しんで作れているかどうか、食育において重要だと感じていた。 調理実習では、児童がけがをしないように目を配り、楽しんで調理して、おいしく食べてもらうことができていた。

○令和8年度食育事業計画

内 容	内灘町と連携し、前年度と同様に食育活動を実施する予定である。 - 取組内容 - 時期 - 場所 - 対象 - 連携団体等
-----	---

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	栄養学を学ぶ学生との調理体験の場の提供
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	⑤大学生・短大生による高校生への食育事業 実施：ミッション食育グループ						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑭若い世代に対する食育の推進						

○令和 7 年度食育事業報告

内 容	取り組み内容 高校生の食に関する意識向上と正しい食生活の実践につなげることを目的として、栄養学を学ぶ学生が講師となり、講義形式で授業（45分）を実施した。食事の栄養バランス、朝食の重要性、野菜の取り方、間食の取り方等について、高校性にとって分かりやすく、実践につながるように学生の経験を生かした具体例やクイズ、グループワーク、簡単朝食レシピの動画などを織り交ぜながら進化した。 時期 2025年7月14日 7月15日 場所 鶴来高等学校 対象 鶴来高等学校1年生 69名 時期 2025年9月12日 場所 能登高等学校 対象 能登高等学校2年生 35名 時期 2025年9月12日 場所 穴水高等学校 対象 穴水高等学校1年生 30名 時期 2025年12月4日 場所 北陸学院高等高校 対象 北陸学院高等学校1年生 274名 実施主体 石川県健康福祉部少子化対策監室
• 取組内容 • 時期 • 場所 • 対象 • 連携団体 等	
成果、所感等	学生自身の高校時代の経験を踏まえ、高校生にありがちな食事例を挙げながら説明を行った。高校生の実情に即した内容であったため、参加者は共感しやすく、自分自身の課題として捉えながら関心を持って話を聞いている様子が見られた。また、講師を務めた学生にとっても、「相手にわかりやすく伝えるためにはどうすればよいか」を考える機会となり、自身の食生活を振り返るきっかけにもなったと考えられる。

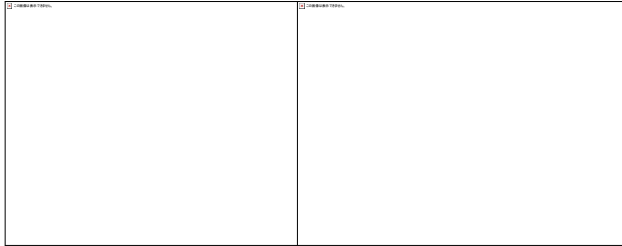
○令和 8 年度食育事業計画

内 容	令和7年度と同じ 時期 2026年7月 鶴来高等学校1年生 2026年9月 穴水高等学校1年生 2026年9月 鵬学園高等学校1年生 2026年12月 北陸学院高等学校1年生 実施主体 石川県健康福祉部少子化対策監室
• 取組内容 • 時期 • 場所 • 対象 • 連携団体 等	

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	—
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	⑥北陸農政局×北陸学院大学 子育て支援メッセージしかわ2025 実施：田中ゼミ、ミッション食育グループ						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(1) ④ 体験型食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	取組内容 北陸農政局とのコラボでランチつりぼりをおこなった。ランチつりぼりは、子どもたちが料理のつりぼりから釣り上げた料理のバランスを、大学生が赤・黄・緑の3つの食品群をもとにアドバイスする、体験型の食育プログラムです。学生は、事前に3つの食品群の説明に使うポスターを作成した。 当日は、子どもたちが食べたい料理をつってプレートに乗せ、大学生と食べ物や組み合わせについて楽しく学んだ。 また、大人向けの野菜摂取量をはかるベジチェックや実物の野菜を準備し、野菜摂取の意識づけをはかった。 日時：2025年11月16日（日）9時～16時 場所：石川県産業展示館 対象：一般（主に子育て世代）、ブース参加200名 連携先：農林水産省北陸農政局
成果、所感等	たくさんの親子連れ・家族連れの参加があった。 学生は、つりぼりで料理を釣り上げ、トレイにのせてきた子どもと目を合わせ、優しく丁寧に解説し野菜を食べることの大切さを伝えた。 実際に経験して、食の専門知識を子どもに伝える難しさと、事前準備の重要性、相手に応じた伝え方の工夫の必要性を学んだ。 参加者には、ベジチェックでの野菜の摂取量を知ってもらったり、展示の実物の野菜の重量などに関心を持ってもらうことができた。

○令和8年度食育事業計画

内 容	具体的な内容は未定であるが、今年度も北陸農政局とのコラボで食育ブースを開設する予定である。
-----	--

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	イベントにおける栄養学を学ぶ学生による食育ブース出展
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	⑦エコ・スイーツ事業						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑭若い世代に対する食育の推進 (6) ⑰食品ロスの削減の推進 (6) ⑳デジタル技術を活用した食育の推進						

○令和7年度食育事業報告

内 容	取組内容 エコスイーツレシピの選考・開発、動画制作・発信、デジタルレシピ集作成 時期 令和7年5月～令和8年2月 場所 北陸学院大学、SNS・動画配信媒体 対象 大学生、市民全般（特に若年層） 連携団体等 北陸学院大学、金沢大学Findingゴミ、金沢市ごみ減量推進課 •取組内容 •時期 •場所 •対象 •連携団体 等
成果、所感等	学生がレシピの考案から動画制作・発信まで主体的に取り組み、エコスイーツを通じたごみ減量の啓発を実施した。行政・大学・学生団体の連携により、知識を社会へ発信する実践的な学びの場となった。

○令和8年度食育事業計画

内 容	「エコ・スイーツ発信事業」は令和7年度で終了するが、引き続き金沢市ごみ減量推進課と連携し、若い世代を対象としたごみ減量・食品ロス削減の啓発活動に取り組む。 •取組内容 •時期 •場所 •対象 •連携団体 等
○他団体との連携(協力)	
他団体と連携可能な取り組み	—
他団体と連携したい取り組み	—

令和 7 年度食育事業報告及び令和 8 年度食育事業計画

団体名	(福) 石川県社会福祉協議会 保育部会保育士会	③
-----	----------------------------	---

事業名	食材と栄養について興味を持ち、食の大切さを知る 食育活動を通して～「おいしい」食体験～						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育 推進計画」の具体的な 取り組みに該当する番号	(2) ④体験型食育の推進						

○令和 7 年度食育事業報告

内 容	【対象】 5 歳児 【内容】 みそ作り、梅干し作り 「みそ作り」の内容 ① 3 色栄養表の取り組みから、味噌の話をする → 興味が広がり「味噌の栄養ってなに？」「味噌は豆からでき る？」と子どもたちからも疑問の声が聞かれた。 ② 柔らかく煮た大豆の香りを嗅いだり、塩や麴を入れて混ぜ合わせたりする ③ 樽に味噌球を投げ入れて仕込みは終わり ④ 半年後、出来上がった味噌で豚汁パーティや焼きおにぎり作り → 「いい匂い～」 「色変わっとる！」 と大喜び 「梅干し作り」の工程
成果、所感等	子どもたちは、食材そのものが変化していく過程を見て、それらの食材を利用して作られた食事等色々と体験したことで、‘食’に対する興味関心が更に高まったと思いました。 また、日本古来から受けつがれてきた食材に触れ、体験することで、五感を刺激し”食”への感謝と健康的な習慣を育むことにもつながったと感じています。

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	【内容】 食の体験活動を通して、食べ物に関心を持ち、食の大切さを知る 【時期】 年間を通して 【対象】 0 ～ 5 歳児 【連携】 各家庭等
他団体と連携可能な取り組み	—
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	食育研修						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(1) ② 食を楽しむ力（知る・育てる・選ぶ・調理する・食べる）の育成 (1) ③ 子どもの基本的な生活習慣の形成 (2) ⑥ 給食を通した食に関する理解促進						

○令和7年度食育事業報告

内 容	給食・離乳食を学びあう研修会 第1回：「未満児の給食について」 講義とデモンストレーション 開催日:10月29日（水）15：00～17：00 場所:石川県立図書館 食文化体験スペース 講師：金沢市幼児教育センター 管理栄養士 上野明日香 氏 参加者：21名 第2回：「以上児の給食について」 開催日:1月21日（水）15：00～17：00 場所:金沢市教育プラザ富樫 講師：金沢市幼児教育センター 管理栄養士 上野明日香 氏 参加者：15名
成果、所感等	第1回月齢ではなく、一人ひとりの成長発達をしっかりと見極めて進めていくことの重要性に気付かされた。それぞれの園での取り組みや悩みを話し合い、新しいアイデアを参考にし、今後の食育につなげていきたい。 第2回幼児期に色々な食材に触れて、季節の移り変わりを感じながら楽しく食事をするのが健やかな成長につながることを学んだ。

○令和8年度食育事業計画

内 容	年度内に研修を実施予定。 テーマ・回数・場所・日時は未定。 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等
○他団体との連携(協力)	
他団体と連携可能な取り組み	—
他団体と連携したい取り組み	金沢市幼児教育センター様に講師派遣を依頼

事業名	小学生等を対象とした食育活動（金沢地区協議会の取り組み）						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(4) ⑩子どもを中心とした農林漁業体験活動の促進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	【金沢地区】 ・なし収穫体験 <参加者：長坂台小学校5年生63名> (時期) R7年9月12日(金) (場所) 生産者圃場、JA金沢市れんこん集出荷場他 ・だいこん収穫体験 <参加者：医王山小学校4～6年生25名> (時期) R7年10月30日(木) (場所) 生産者圃場 JA金沢市砂丘地集出荷場他 【金沢大野支部】 <参加者：大野町こども園47名> ・五郎島金時の定植、五郎島金時・ダイコンの収穫体験 (時期) 定植：R7年6月3日(火)・収穫：R7年11月4日(火) 【金沢川北支部】 ・稲の栽培体験 <参加者：大浦小学校5年生60名> (時期) 田植え：R7年5月19日(月) 稲刈り：R7年9月26日(金) 【金沢安原支部】 <参加者：大阪府福島小学校5年生> ・加賀野菜『加賀太きゅうり』生産者による授業（太きゅうりを提供） (時期) R7年5月23日(金) 【金沢安原支部】 <参加者：田上小学校3年生> ・加賀野菜『加賀太きゅうり』生産者による授業 (時期) R7年5月26日(月)
	成果、所感等

○令和8年度食育事業計画

内 容	令和7年度と同様のイベントを予定
・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等	
他団体と連携可能な取り組み	—
他団体と連携したい取り組み	—

○他団体との連携(協力)

事業名	米づくり体験農園設置事業 他						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(2) ④体験型食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	1. 米づくり体験農園設置事業 学童に対し、米づくりの体験を通して米の大切さ・米への親しみ、さらには食生活の現状と問題点、食糧事情等、米を中心とした日本型食生活の啓蒙、普及を図ることを目的に、令和7年度は111校が参加した。 2. 農業・JAに関する小・中学生各種コンクールの実施 県下全小中学生に対して、作文・絵・書道・ポスターのコンクールを実施し、食・農業の重要性や役割について、理解を広めた。応募点数（作文111点、絵画126点、書道6,361点、ポスター346点） 3. 副読本の配布 県下全小学校5年生に対して、学習用副読本「いしかわの農業」を作成・配布した（11,000部）。 4. おにぎりの日（毎月2日）の設定 JAグループ石川において、おにぎりの日として定めた毎月2日に、JA直売所、イベント等において、おにぎりとおにぎりの簡便性を紹介した広告入りのポケットティッシュを配布するとともにごはん食の大切さを周知し、米の消費拡大を促した。（15JA、120イベント）。
成果、所感等	米づくり体験農園については、インストラクターの高齢化や体調不良により、やむを得ず実施できなかった学校が見られた。 子供たちが今後も継続して本事業に取り組めるよう、インストラクターの高齢化や後継者不足への対応が求められる。 また、社会全体で米への関心が高まる中、本事業は米づくりへの理解を深める貴重な機会として、今後ますます重要性が高まるものと考えられる。副読本については、今年度、近年の米を取り巻く情勢を盛り込むなど、時代に即した内容への改訂を行ったことで、米の情勢に対する関心を高めていただくことができた。 また、配布先である小学校に加え、他部署からの依頼により活用される機会も見られた。今後も様々な場面で活用機会の拡大を図っていただきたい。

○令和8年度食育事業計画

内 容	1. 米づくり体験農園設置事業 学童に対し、米づくりの体験をとおして米の大切さ・米への親しみ、さらには食生活の現状と問題点、食糧事情等、米を中心とした日本型食生活の啓蒙、普及をはかる。 2. 農業・JAに関する小・中学生各種コンクールの実施 県下全小中学生に対して、作文・絵・書道・ポスターのコンクールを実施し、食・農業の重要性や役割について、理解を広める。 3. 副読本の配布 県下全小学校5年生に対して、学習用副読本「いしかわの農業」を作成配布し、農業や食に対する学習に役立てる。 4. おにぎりの日（毎月2日）の設定 おにぎりの日において、県内の学校、プロスポーツ団体等に、おにぎりとおにぎりの簡便性を紹介した広告入りのポケットティッシュを配布するとともにごはん食の大切さを周知し、米の消費拡大につなげる。 また、JA直売所やJAにおけるイベント等にて、おにぎりの配布・PR活動を行うことで、おにぎり・ご飯の魅力について知ってもらう。
・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等	

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	—
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	産学連携による食育の推進						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(3) ⑦石川の食文化の継承につながる食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	1. 産学連携による料理教室の実施 石川県立大学との産学連携の取り組みで、県産農畜産物をふんだんに使った料理教室を実施し、学生28名（うち男性8名）が参加した。料理研究家の しもおきひろこさんを講師に招き、学生が普段使いできるような「手軽で簡単・楽しい」をテーマに参加者を公募。 2. 産学連携による出前授業の実施 石川県立大学との産学連携の取り組みで、生産科学科2年生の「食料システム学概論」の授業の1コマで出前授業を実施し、45名の学生に講義した。授業では、本県農業およびJA組織の概要等を説明したほか、県産農産物の旬や主な産地なども紹介した。
	料理教室では、しもおき氏の実演を交えながら調理の基本を学び、3品のレシピに挑戦する中で、学生へ「つくることの楽しさ」や「国産国産・地産地消」への理解醸成をはかった。参加した学生からは、「石川県の食材を使って楽しく料理できた」、「国産の食材をたくさん使って料理をしたい」などの感想が寄せられた。 出前授業では、アンケートで学生全員が「石川県農業について理解できた」と回答したほか、「石川県の農業の現状、JAが行う事業について理解が深まった」、「地元のJAで農業の問題に取り組んでみたい」など受講生の関心も高く、理解が深まったと思われる。

○令和8年度食育事業計画

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	1. 産学連携による料理教室の実施 石川県立大学との産学連携の取り組みを継続し、県産農畜産物をふんだんに使った料理教室を10月に開催予定。 2. 産学連携による出前授業の実施 石川県立大学との産学連携の取り組みを継続し、6月に食料経済学の「食料システム学概論」の授業の1コマで実施。
--	---

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	石川県農業や県産農産物PRに関する講師派遣
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	食育活動						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑭若い世代に対する食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容 - 取組内容 - 時期 - 場所 - 対象 - 連携団体等	《市場見学、セリ見学》 取組内容：市場見学、模擬セリ体験、セリ見学による実体験教室 時 期：4月～1月 場 所：石川県漁協かなざわ総合市場 《おさかな料理教室》 取組内容：しもおきひろこ先生を迎え、魚の捌き方を含めた魚料理教室を開催 時 期：6月、8月、9月、10月、11月、3月（年6回） 場 所：金沢勤労者プラザ 連携団体：FMいしかわ 《ホームページを利用したPR活動》 取組内容：石川県の漁師がオススメする魚介類、料理法を紹介 連携団体：全国漁業協同組合連合会 《おいしかわ県.jpの開設》 取組内容：石川県産魚の認知度向上のため、様々な情報を発信・集結させるポータルサイトの設立、運営 連携団体：おいしかわ県PR協議会、東日本信漁連、農林中央金庫
	料理教室では、あまり魚を捌いたことの無い参加者も真剣に取り組んでいた。 小学生の参加者の中には、魚をさばくのが初めてという子が多く、楽しんで料理をしていた。 セリ見学では、実際のセリの様子を見ていただき、セリ体験も一部実施しており、参加者からの評判も良い。

○令和8年度食育事業計画

内 容 - 取組内容 - 時期 - 場所 - 対象 - 連携団体等	市場見学、セリ見学、おさかな料理教室、ホームページを利用したPR活動等を、前年同様に実施予定
○他団体との連携(協力)	
他団体と連携可能な取り組み	石川県森林組合連合会より、県産材を使用した、まな板と割り箸を提供いただき、イベントやおさかな料理教室で使用し、県産材のPRをおこなった。
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	こども手洗い教室						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(6) ⑯食育の推進に関する情報提供						



○令和7年度食育事業報告

内 容	近年多発するノロウイルス、細菌性食中毒、アニサキスや感染症の予防には、子供のころから「正しい手洗い」を身に付けることが効果的と考えており、8月の食品衛生月間中の行事として「こども手洗い教室」を下記のとおり開催しました。 1 開催内容 (1) タベルマンクイズバトル (2) 上手な手の洗い方 (3) 手の汚れの実験 (手を洗う前、石鹸で手を洗った後) (4) 食中毒防止のお話 2 開催日時 令和7年8月4日(月) 10時30分～11時30分 3 開催場所 ノーム児童クラブ(鳳珠郡能登町学童保育) 4 対象者 小学生17名(1年生-6名、2年生-5名、3年生-4名、4年生-1名、6年生-1名) 学童保育指導員 3名 5 連携団体 のと食品衛生協会 6 協 力 能登北部保健福祉センター 3名 7 取 材 北國新聞社-1名、北陸中日新聞-1名
成果、所感等	クイズはプロジェクターにて放映し、紙芝居も併用し進行しました。手の汚れの実験では、小学生17名、学童保育指導員3名全員が実験に参加し、大盛況で正しい手洗いなどの食中毒予防の対策を学びました。

○令和8年度食育事業計画

内 容	今年度も、昨年と同様(8月中)に開催を予定しています。 なお、開催場所は未定です。
他団体と連携可能な取り組み	のと食品衛生協会の食品衛生指導員の協力要請(ATPアナライザーを使用して、手の汚れの実験の協力をお願いしました。)
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	しあわせのいえ食育事業						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(1) ②食を楽しむ力、③子どもの基本的な生活習慣の形成 (3) ⑦食文化の継承につながる食育の推進 (5) ⑭若い世代に対する食育の推進、⑯高齢者に対する食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	年代・性別を問わず、誰にとっても関心の高い共通テーマである「食」を中心に、実践を目的とした週替わりランチ事業や、料理教室、イベント等を行い多世代が 情報交換や仲間づくりのできる交流機会の創出をおこなっている。 ○しあわせキッチン料理教室 令和7年度：6回開催 参加者数： 延べ52名 ○しあわせ調理実習室 令和7年度：10回開催 参加者数： 延べ59名 ○おうちおやつ教室（月2回程度開催） 令和7年度：16回開催 参加者数： 延べ150名 ○男の料理教室 [シニア]（月1回程度開催） 令和7年度：11回開催 参加者数： 延べ62名 ○二十四節気季節会 [伝承・家庭料理]（月1回程度開催） 令和7年度：11回開催 参加者数： 延べ95名 ○石のスープの会 [持ち寄り食づくり]（月1回程度開催） 令和7年度：11回開催 参加者数： 延べ60名
成果、所感等	令和7年度に実施した「二十四節気季節会」では、気候変動や食材価格の高騰により旬の食材の確保が難しい状況も見られたが、その時々で手に入る季節の食材を活用した献立や調理の工夫について活発な交流が行われた。 また、料理教室では、食材の使い切りや代替食材の活用方法など、家庭で役立つ情報交換が行われ、参加者の食への関心を深める実践的な食育の機会となった。

○令和8年度食育事業計画

内 容	令和8年度も引き続き、幅広い世代を対象とした食育事業を実施し、多世代交流の促進や施設利用者の満足度向上を図りたい。食材価格の高騰や気候変動など食を取り巻く環境の変化を踏まえ、家庭で実践できる食材の有効活用や季節の食材を取り入れた調理方法など、時代に即した内容を企画に盛り込みながら食育事業を推進していく。 また、参加者同士の交流や情報共有を通じて、地域における食への関心と理解を深める機会の充実に努めたい。
他団体と連携可能な取り組み	特になし
他団体と連携したい取り組み	特になし

事業名	場から発信する金沢の食文化事業、市場ブランドPR事業					
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳 高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(1) ②食を楽しむ力（知る・育てる・選ぶ・調理する・食べる）の育成 (2) ④体験型食育の推進 (3) ⑦石川の食文化の継承につながる食育の推進 (3) ⑨食文化に関する情報の収集と発信 (4) ⑫食品関連事業者等による地産地消の促進 (6) ⑰食育の推進に関する情報提供					



○ 令和7年度食育事業報告

内容 - 取組内容 - 時期 - 場所 - 対象 - 連携団体等	①市場を知り理解する体験型イベント 令和7年10月19日（日） 市場関連事業者のまつりと連携開催（約3千人来場） 魚介に触れる移動型水族館や市場の役割をPR ②キャラクターを活用した旬の青果・水産物の消費推進 野菜に加え、新たに水産物のキャラクターを作成し、販促グッズを制作（マグネット、のぼり旗、ストラップ） ③市場最新情報のSNS発信 X（旧ツイッター）、Podcast等により、初セリや底曳き漁解禁など旬の食材を35回発信 ④市場ブランドPR事業 テレビ番組内のレギュラーコーナー（市場直送 旬感ヒトサラ） 市場関係者が旬の食材や調理法等を紹介（約10分 年間47回）
成果、所感等	・市場を知り理解する体験型イベントは、青果物や水産物の流通のしくみや市場の役割を理解し、実際に魚介と触れ合うことで、楽しみながら水産物や市場を学ぶ機会となった ・インターネットによる映像や音声は訴求力が高い ・食材や市場のPRについて、効果的・効率的に実施していく

○ 令和8年度食育事業計画

内容 - 取組内容 - 時期 - 場所 - 対象 - 連携団体等	①市場を知り理解し、楽しむ体験型イベントの開催 市場開設60周年感謝祭の開催（10月11日） ②キャラクターを活用した旬の青果・水産物の消費推進 おさかな普及協会、やさしい・くだもの消費促進協議会による小売店頭での販促グッズの活用や料理教室を実施 ③市場最新情報のSNS発信 青果・水産物部の活動を配信 X（旧ツイッター）、Podcast等活用を充実 ④小学生用パンフレットの制作 見学等、市場や食材への理解を深められる機会の充実 ⑤市場ブランドPR事業 テレビ番組（市場直送 旬感ヒトサラ）の配信、YouTubeによる見逃し配信も開始
○ 他団体との連携(協力)	
他団体と連携可能な取り組み	料理教室や出前講座における料理人や栄養士等の連携
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	生活協同組合コープいしかわ						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(1) ②食を楽しむ力（知る・育てる・選ぶ・調理する・食べる）の育成 (4) ⑩子どもを中心とした農林漁業体験活動の促進 (4) ⑪消費者と生産者の交流の促進						



○令和 7 年度食育事業報告

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	①コープ農園お米コース 内容・時期 4月田植え、5月草取り・8月稲刈りを実施 対象：組合員親子 連携団体： 協力・ぶった農産 ②レタス・小松菜収穫体験 内容・時期 6月にレタス・小松菜の収穫体験を実施。 また能登復興支援として能登地域の組合員家族をバスで招待 対象：組合員親子 連携団体： 協力・中本農園 ③サタデーとうもろこし 内容・時期 7月に収穫体験を実施 また能登復興支援として能登地域の組合員家族をバスで招待 対象：組合員親子 連携団体： 協力・中本農園 ④その他 コープ農園トマトコースをコーミ（株）と連携、お魚セリ体験を県漁連と連携し活動をすすめました。また能登復興支援としてJA金沢市と連携し五郎島金時収穫体験を実施しました。
	成果、所感等 ①コープ農園では組合員56家族、②レタス小松菜収穫体験には121名の組合員家族と能登地域から68名が参加、③サタデーとうもろこしでは1,642名の組合員家族と能登地域から114名が参加するなど多くの組合員家族が食育活動を通して生産者との交流や収穫を通して食を育み、学ぶ場づくりの機会につながった。

○令和 8 年度食育事業計画

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	①コープ農園お米コース 4月・田植え、5月草取り・8月稲刈りを実施。 対象：組合員親子 連携団体：協力・ぶった農産 ②レタス・小松菜収穫体験、内容・時期 6月にレタス・小松菜の収穫体験を実施。 対象：組合員親子 連携団体：協力・中本農園 ③サタデーとうもろこし 7月に収穫体験を実施、また能登復興支援として能登地域の組合員家族をバスで招待 対象：組合員親子 連携団体：力・中本農園 その他の食育活動を含め、前年同様の取り組みをすすめる			
	○他団体との連携(協力) <table><tr><td>他団体と連携可能な取り組み</td><td>—</td></tr><tr><td>他団体と連携したい取り組み</td><td>—</td></tr></table>	他団体と連携可能な取り組み	—	他団体と連携したい取り組み
他団体と連携可能な取り組み	—			
他団体と連携したい取り組み	—			

事業名	各会員団体の取り組み・成果、所感・食育事業計画・他団体との連携 等						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(1) ②食をたのしむ力（知る・育てる・選ぶ・調理する・食べる）の育成 (3) ⑦石川の食文化の継承につながる食育の促進 (4) ⑩子どもを中心とした農林漁業体験活動の推進 ⑪消費者と生産者の交流の促進 ⑬地場産物や環境に配慮した農業に関する情報提供と利用促進 (5) ⑭若い世代に対する食育の推進 (6) ⑯食育の推進に関する情報提供 ⑳食品ロス削減の推進 ㉑多様な暮らしに対応した食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	・石川県生活学校連絡会 地産地消料理教室、食品ロス削減「フードドライブ」の実施、子ども・大人食堂、子ども宅食、フードパントリー、夏休み親子料理教室、ちまき・味噌・梅干し・しそ・おはぎづくり、食品ロス削減啓発活動（小冊子配布）等 ・生活協同組合コープいしかわ コープ農園お米・トマトコース、とうもろこし、レタス・小松菜収穫体験、お魚セリ体験、能登復興支援として五郎島金時収穫体験 等 ・石川県青年団協議会 『こども合宿in金沢2025』にて、スパイスから作るカレーを班の青年と共に協力して作りました。また、班全員で大きな太巻き寿司をどこにどんな食材を置くか、入れすぎてないか話し合いながら作りました。
成果、所感等	・石川県生活学校連絡会 食品ロス削減のためにフードドライブを実施しています。高齢者や福祉施設等へ渡していますが大変喜ばれています。削減と共に地球温暖化防止にも寄与しています。料理教室の実施は、体験し学ぶことでより食育に貢献できます。 ・生活協同組合コープいしかわ ①コープ農園では組合員56家族、②レタス小松菜収穫体験には121名の組合員家族と能登地域から68名が参加、③サタデーとうもろこしでは1,642名の組合員家族と能登地域から114名が参加するなど多くの組合員家族が食育活動を通して生産者との交流や収穫を通して食を育み、学ぶ場づくりの機会につながりました。 ・石川県青年団協議会 子どもたちは協力しながらカレーや太巻き寿司を完成させ、子ども同士の親睦を深めたり、子どもと青年の心の交流をおこなうことができました。

○令和8年度食育事業計画

内 容	・石川県生活学校連絡会 令和7年度同様に実施 ・生活協同組合コープいしかわ 食育活動を含め前年同様の取り組みを進める ・石川県青年団協議会 県内小学生を対象に、『こども合宿2026』（仮称）を実施し、子供たちに調理実習（夕食づくり）を行ってもらおう。今回は復旧復興が進む能登地区で開催し、現地の方と触れ合いながら、可能な限り地元の食材を使用し、地産地消や地元の名物などについても興味を持ってもらう機会としたい。
他団体と連携可能な取り組み	・石川県生活学校連絡会 栄養士会からの講師派遣、フードバンクいしかわ・社会福祉協議会と連携してフード・ドライブや料理教室の開催 ・生活協同組合コープいしかわ 今期も取引先をはじめ各協同組合と連携し、食育活動を推進していきます。
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	金沢市立工業高等学校（現在在籍校）						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(2) ⑤地域交流型食育の推進 (3) ⑦石川の食文化の継承につながる食育の推進 ⑨食文化に関する情報の収集と発信 (4) ⑬地場産物や環境に配慮した農業に関する情報提供と利用促進						



○令和 7 年度食育事業報告

内 容	- 令和 7 年度 第 2 回がんばろう能登アイデアレシピコンテスト優勝 「能登のエイリアンフード！？中島菜のオムライス」 日時：令和 7 年 1 1 月 2 日（日） 場所：LAKUNAはくいキッチンスタジオ 主催：羽咋市 - 令和 7 年度 第 6 8 回石川県高等学校家庭クラブ研究発表大会 成人会長最優秀賞 「のとはやさしや味までも。食から魅力をみつけたろう！」 日時：令和 7 年 1 2 月 1 8 日（木） 場所：羽咋工業高等学校からオンライン形式 主催：石川県高等学校家庭クラブ連盟
成果、所感等	コンクールに出場することにより、食材・郷土料理に対する理解が深まった。また、それに加え、石川県家庭クラブ連盟が主催する研究発表大会では、その成果を県内の高校生に向けて発信することができた。石川県の漁業の現状とこれからについて学びを深めた時間となった。 これらの経験から、授業で栄養の知識を学ぶだけでなく食選択や食文化理解、健康について考える力を身に付けることができた。特に、地域の食に関わる職業の方々と交流した経験は生徒にとって大変有意義なものであったと考えられる。

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	令和 8 年度 「石川県を深く学び未来へつなぐトキクッキー作り」 ワークショップの実施 日程：令和 8 年 6 月 22 日（月）23 日（火） 26 日（金） 場所：本校調理室 対象：家庭基礎履修生徒（高校 2 年生） 講師：たまゆら 畠山 典子氏
他団体と連携可能な取り組み	地物食材に関する教材の提供・食材の提供
他団体と連携したい取り組み	生徒が食文化を体験する機会・場所の提供

事業名	～地産地消・カンバレじわもん食材～ 「石川を笑顔に じわもん お弁当 コンテスト」						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	【目的1】 (1) ③子どもの基本的な生活習慣の形成 【目的2】 (3) ⑦石川の食文化の継承につながる食育の推進 (3) ⑨食文化に関する情報の収集と発信 【目的3】 (5) ⑭若い世代に対する食育の推進 (6) ⑮各種団体等の連携・協力体制の推進 (6) ⑯食育の推進に関する情報発信 (6) ⑳多様な暮らしに対応した食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	～地産地消・カンバレじわもん食材～「石川を笑顔に じわもん お弁当コンテスト」
	・ レシピ応募期間：令和7年8月1日（金）～10月4日（土） ・ 応募内容：石川の食材を使った、和・洋・中華の新しいお弁当レシピ （自由課題ですが未発表作品に限ります） ・ 応募資格：中学生、高校生、短大・大学生、専門学校生、料理学校生徒、一般（どなたでも応募できます） ※グループ参加も可（2人以内） ・ 応募書類審査の上、実技審査（1次書類選考の8作品） ・ 2次審査 日時：令和7年11月9日（日） 会場：青木クッキングスクール ・ 審査委員による総合評価の上、各賞の決定・表彰 ・ 実技審査の結果をとりまとめた小冊子を作成し関係団体等に配布
・ 取組内容 ・ 時期 ・ 場所 ・ 対象 ・ 連携団体等	連携団体等： NPO日本食育インストラクター協会、一般社団法人全国料理学校協会、中部料理学校協会
	後援・協賛： 農林水産省北陸農政局、石川県、金沢市教育委員会、石川県栄養士会、米新品種「ひゃくまん穀」普及推進委員会、 NPO日本食育インストラクター協会、一般社団法人全国料理学校協会、中部料理学校協会、NHK金沢放送局、 北國新聞社、北國新聞文化センター、北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル(株)、(株)米心石川、味の素(株)、カゴメ(株)、 キューピー(株)、伯方塩業(株)、DM三井製糖(株)、ケンミン食品(株)、オカモト(株)、ヒガシマル醤油(株)、 石川県漁業協同組合、石川県食肉事業協同組合連合会、(株)福光屋（順不同）

成果、所感等

「じわもん愛 豊かに 個性が光る お弁当」をサブタイトルにした～地産地消・ガンバレじわもん食材～「石川を笑顔にじわもんお弁当コンテスト」開催にあたり能登の海、山、加賀の里から届けられるじわもん食材の特徴を生かしたハートある作品には、能登への熱い思いが込められていました。地産食材をいかした新しい味の発見、アイデアあふれる多彩なレシピが中学・高校・短大・大学・専門学校・料理学校・一般の方々から124点の応募があり、書類選考した9作品による料理実技選考を行いました。調理実技は農林水産省北陸農政局消費・安全部長添野覚様、石川県栄養士会会長田中弘美様および石川県料理学校協会の会員各校のメンバーにより審査・選考をし最優秀賞1点優秀賞2点が選ばれました。ユニークな発想、地産地消の思い入れが熱くかがやく光景が見られました。技術力、新世代のアイデアは、石川の明るい未来が予測されるコンテストでした。長寿社会となり、子供、若い世代からの健康管理が重要であると認識され、国産、地産食材、調味料など、安全な食が届けられるよう料理の基礎知識、創造力を育み、心身の健康につなげて頂けるよう更に啓蒙して参りたいと思います。

○令和8年度食育事業計画

内 容

事業名：～地産地消・ガンバレじわもん食材～「石川ランチプレート コンテスト」(仮称)

- ・レシピ募集

期間：令和8年8月1日(土)～10月3日(土)(予定)

対象：中学生、高校生、短大・大学生、専門学校生、料理学校生、一般(どなたでも応募可能)※グループ参加可(2名内)

- ・応募書類選考の上、2次実技選考(1次書類選考の8作品)

日時：令和8年11月8日(日)午後1時より(予定) 場所：青木クッキングスクール

- ・審査委員による総合評価の上、各賞の決定・表彰

- ・実技選考結果を取りまとめた小冊子を作成し関係団体等に配布予定

連携団体等：

農林水産省北陸農政局、石川県、金沢市教育委員会、石川県栄養士会、JA全農いしかわ、JFいしかわ、石川県食肉事業協同組合連合会、NHK金沢放送局、北國新聞社、北國新聞文化センター、テレビ金沢、北陸放送、金沢ケーブル(株)(順不同・予定)

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み

料理教室開催の請負、料理講習会への講師派遣、食文化に関する講座・講演

他団体と連携したい取り組み

県内各地の食文化情報の収集への協力
修学旅行生や地元学生への郷土料理調理体験実習や食文化講座の開催

事業名	給食試食会						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(2) ⑥ 給食を通した食に関する理解促進						

○令和7年度食育事業報告

内 容	【羽咋市立西北台小学校】 希望する保護者を対象に、子供達が毎日食べている給食実食する。 (時期) 令和7年4月 (場所) 羽咋市立西北台小学校 (対象) 希望する生徒とその保護者
成果、所感等	保護者からの感想 ・他の保護者の方とお話しする良い機会になった ・子供がどんな場所でどんな給食をたべているか解り安心しました。 ・家でも共通の話題ができてよかった。

○令和8年度食育事業計画

内 容	令和7年度と同じく、県内の各学校で給食試食会を実施する予定です。 子供達が普段どんな給食を食べているのか知ってもらい、保護者の皆様に食育の重要性について考えていただきたいと思います。
・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	—
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	おやこの食育教室					
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳 高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(1) ②食を楽しむ力（知る・育てる・選ぶ・調理する・食べる）の育成					



○令和7年度食育事業報告

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等	【内容】 「食育5つの力」をテーマとした料理教室の開催 【時期】 令和7年7月～12月 【対象】 年長から小学生の親子 【地区】 10地区 【実績】 回数：17回 人数：369名
成果、所感等	親子協働での調理体験を通して、コミュニケーションをとりながら食事の大切さを学ぶことができた。 また、うす味でも野菜の味がしっかり感じられるみそ汁の調理を通して、幼少期からの減塩習慣の定着に働きかけることができた。

○令和8年度食育事業計画

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等	【内容】 令和7年度同様 【時期】 令和8年6月～12月 【対象】 令和7年度同様 【地区】 9地区
○他団体との連携(協力)	
他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	魚料理アドバイザー等の資格を有する方と連携し、料理教室を実施したい。

事業名	男性のための料理教室						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑮健康寿命の延伸につながる食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	【内容】 男性の食生活改善を目的とした料理教室の開催 【時期】 令和7年12月 【対象】 成人男性 【地区】 1地区 【実績】 回数：1回 人数：25名
成果、所感等	調理経験の少ない男性をターゲットにすることにより、男性の食生活改善に取り組んだ。 また、男性は定年退職後の社会参加が希薄になりやすいことから、定年退職前からの地域とのつながりづくりにも寄与した。

○令和8年度食育事業計画

内 容	実施予定なし
・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等	

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	魚料理アドバイザー等の資格を有する方と連携し、料理教室を実施したい。

事業名	生涯骨太クッキング						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑮健康寿命の延伸につながる食育の推進						



○令和 7 年度食育事業報告

内 容	【内容】 「メタボ予防からフレイル予防への切り替え」をテーマとした料理教室の開催 【時期】 令和 7 年 7 月～令和 8 年 1 月 【対象】 働き世代、高齢世代 【地区】 8 地区 【実績】 回数：16 回 人数：270 名
成果、所感等	フレイル予防のための運動・身体活動を含む生活習慣の啓発だけでなく、料理教室を通じた社会参加（人とのつながり）の推進に取り組むことができた。

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	【内容】 令和 7 年度同様 【時期】 令和 8 年 6 月～12 月 【対象】 令和 7 年度同様 【地区】 8 地区 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等
他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	魚料理アドバイザー等の資格を有する方と連携し、料理教室を実施したい。

○他団体との連携(協力)

事業名	郷土・伝統料理教室						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(3) ⑦石川の食文化の継承につながる食育の推進						



○令和 7 年度食育事業報告

内 容	【内容】 地域の食文化の保護・継承を図ることを目的とした料理教室の開催 【時期】 令和 7 年 8 月～9 月 【対象】 小学生、一般県民 【地区】 1 地区 【実績】 回数：2 回 人数：33 名
成果、所感等	小学生を含む地域住民との柿の葉寿司の調理を通し、地域の郷土料理・食文化の普及・継承に寄与した。

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	実施予定なし
他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	ヘルスサポーター養成を通じた地域をつなぐプロジェクト ～住民ONE TEAMで健康寿命をのばそう～						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑮健康寿命の延伸につながる食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	【内容】料理教室の開催に加え、対象に応じて日々の生活習慣・食生活チェック、みそ汁の塩分濃度測定、シニアカフェドрил（脳トレ）等の実施 【時期】令和7年7月～令和8年1月 【対象】（1）若者世代（主に中学生、高校生、大学生） （2）働き世代（主に就労者） （3）高齢世代（主に65歳以上の高齢者） 【地区】（1）5地区 （2）5地区 （3）18地区 【実績】回数：（1）9回 （2）7回 （3）40回 人数：（1）235名 （2）144名 （3）779名 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等
成果、所感等	世代ごとに内容を変えた料理教室等の開催により、ライフステージに応じた健康課題の改善に寄与した。

○令和8年度食育事業計画

内 容	【内容】令和7年度同様 【時期】令和8年8月～12月 【対象】令和7年度同様 【地区】（1）5地区 （2）5地区 （3）16地区 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等
他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	—

○他団体との連携(協力)

事業名	災害時の食事支援教室						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(6) ⑬食育の推進に関する情報提供						



○令和 7 年度食育事業報告

内 容	【内容】 有事に向けた「平時からの備え」として災害備蓄食品の保存方法や料理法、炊き出しの方法等の伝達 【時期】 令和 7 年 9 月 【対象】 会員、一般県民 【地区】 1 地区 【実績】 回数：1 回 人数：27 名
成果、所感等	実用的な食に関する平時からの対策の啓発を通して、地域の防災意識向上に寄与した。

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	実施予定なし
他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	家庭訪問による減塩普及活動						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑮健康寿命の延伸につながる食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等	【内容】 各家庭のみそ汁の塩分濃度測定及びイベント等でのみそ汁の試飲体験 【時期】 令和7年6月～12月 【対象】 一般県民 【地区】 17地区 【実績】 軒数：3, 561軒 人数：8, 210名
成果、所感等	長年継続して実施している事業であり、濃い味を好む県民が減り、うす味の者が増えており、事業の効果を感じている。

○令和8年度食育事業計画

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体等	【内容】 令和7年度同様 【時期】 令和8年6月～12月 【対象】 令和7年度同様 【地区】 19地区
○他団体との連携(協力)	
他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	食育推進普及啓発事業						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(6) ⑭食育の推進に関する情報提供						



○令和 7 年度食育事業報告

内 容	【内容】 スーパーや地域のイベント等でのティッシュ等の配布による食育の日の啓発 【時期】 令和7年6月～12月 【対象】 一般県民 【地区】 17地区 【実績】 配布個数：5,464個
成果、所感等	地域のイベントや健診会場等での食育の日の普及・啓発を通して、食育に対する意識を高めることができた。

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	【内容】 令和7年度同様 【時期】 令和8年6月～12月 【対象】 令和7年度同様 【地区】 19地区
・取組内容	
・時期	
・場所	
・対象	
・連携団体等	
他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	—

○他団体との連携(協力)

事業名	郷土料理教室						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(3) ⑦石川の食文化の継承につながる食育の推進						



○令和 7 年度食育事業報告

内 容	【内容】 石川県の郷土料理を地域住民へ普及する料理教室の実施 【時期】 令和 7 年 6 月～1 2 月 【対象】 一般県民 【地区】 1 7 地区 【実績】 人数：4 0 4 名
成果、所感等	事業を通して、地域の食材の新しい食べ方を知ったり、食べたことのない地場産物・郷土料理を食べる良い機会となり、地域住民における地域の地場産物・食文化等への関心が高まった。

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	【内容】 令和 7 年度同様 【時期】 令和 8 年 6 月～1 2 月 【対象】 令和 7 年度同様 【地区】 0 ～1 9 地区 (選択事業のため)
他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	米粉料理教室						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(6) ⑬食育の推進に関する情報提供						



○令和7年度食育事業報告

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	【内容】 米粉を取り入れた料理教室の開催 【時期】 令和7年6月～12月 【対象】 一般県民 【地区】 10地区 【実績】 回数：16回 人数：532名
成果、所感等	主食用米の消費量が減少する中、新たな米の活用として米粉利用の普及により、これまで米粉を使用したことがなかった方にも興味を持ってもらう良い機会となった。

○令和8年度食育事業計画

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	【内容】 令和7年度同様 【時期】 令和8年6月～12月 【対象】 令和7年度同様 【地区】 0～19地区 (選択事業のため)
○他団体との連携(協力)	
他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	いしかわヘルシー＆デリシャスメニュー料理教室						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑮健康寿命の延伸につながる食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容	【内容】 「いしかわヘルシー＆デリシャスメニュー」を活用した料理教室の開催 【時期】 令和7年6月～12月 【対象】 一般県民 【地区】 11地区 【実績】 回数：20回 人数：341名
成果、所感等	短時間で作れるレシピや、災害時の作り方も併せてご紹介し、取り組みやすいかたちでのメニュー普及に取り組んだ。

○令和8年度食育事業計画

内 容	【内容】 令和7年度同様 【時期】 令和8年6月～12月 【対象】 令和7年度同様 【地区】 0～19地区 (選択事業のため)
- 取組内容 - 時期 - 場所 - 対象 - 連携団体等	
他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	—

○他団体との連携(協力)

事業名	被災者向け栄養教室・料理教室事業						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(6) ⑬食育の推進に関する情報提供						



○令和 7 年度食育事業報告

内 容	【内容】 仮設住宅等での料理教室等の実施 【時期】 令和 7 年 6 月～1 2 月 【対象】 一般県民 【地区】 1 6 地区 【実績】 日数：延 4 4 日間 人数：1, 5 9 1 名
成果、所感等	各地域の実情を踏まえて実施方法を工夫し、被災地域の仮設住宅等だけでなく、防災訓練での啓発や広域避難先でのコミュニティづくりにも寄与した。

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	【内容】 令和 7 年度同様 【時期】 令和 8 年 6 月～1 2 月 【対象】 令和 7 年度同様 【地区】 1 9 地区
・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	
他団体と連携可能な取り組み	保育園、幼稚園、学校等から依頼があれば出向いて料理教室等ができるため、食生活改善推進員の活動を周知していただきたい。
他団体と連携したい取り組み	

○他団体との連携(協力)

事業名	栄養ケア・ステーション事業（県民に対する事業）						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑭ 若い世代に対する食育の推進 (5) ⑮ 健康寿命の延伸につながる食育の推進 (5) ⑯ 高齢者に対する食育の推進			(5) ⑰ ボランティア等の育成・活動の推進 (5) ⑱ 各種団体等の連携・協力体制の推進 (5) ⑲ 食育の推進に関する情報提供			



○令和7年度食育事業報告

内 容	・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等 1.健康教育事業 ① いきいきライフ栄養講座 ・講座「低栄養予防について」 R7.11.20／金沢市 ・講座「フレイル予防の食生活について」 R7.11.26／宝達志水町 ② 金沢市老人連合会への講師派遣 ③ 各種団体の講座等への講師派出 2.栄養相談事業 ・ 栄養ワンダー2025 in 石川 R7.11.22／小松市 内容：「フレイル予防～栄養のチカラ～」管理栄養士・理学療法士による講話、ロコモ度テスト、栄養相談 ・ 第46回金沢健康づくりフェア R7.9.27～28／金沢健康プラザ大手町 ・ キッズケアいしかわ R7.11.8／石川県産業展示館 ・ 地域ケア会議への管理栄養士派出 ・ 医療機関・介護施設等との連携「いしかわ栄養ケア・ステーション」 ・ 能登半島地震・豪雨災害支援／4～3月 珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、志賀町、七尾市 個別訪問（世帯スクリーニング・栄養アセスメント）、集団指導等
成果、所感等	健康情報の発信に積極的に取り組んだ。 また、各種団体、機関と連携して栄養改善事業に資することができた。

○令和8年度食育事業計画

内 容	・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等 1.健康教育事業 ・ いきいきライフ栄養講座 （生活習慣病予防の栄養講座） 県内2～4地区 令和8年6月～令和9年3月 ・ 各種団体の講座等への講師派出、他 2.栄養相談事業 ・ いきいきライフ食事相談会 ・ 健康づくり関連催事での栄養・食事相談 ・ 電話相談窓口の開設 （石川県栄養士会事務局において電話、メール 等による栄養・食事相談等）
他団体と連携可能な取り組み	食と健康に関する研修会、調理講習会、栄養相談事業に管理栄養士・栄養士の講師派遣、食と健康に関する教材の提供（レシピ集、リーフレット他）
他団体と連携したい取り組み	栄養ケア・ステーション事業として医療機関との連携、他の職能団体との連携

事業名	料理講習会						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(3) ⑦石川の食文化の継承につながる食育の推進 (5) ⑮健康寿命の延伸につながる食育の推進 (6) ⑱各種団体等の連携・協力体制の推進						

○令和7年度食育事業報告

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	【取組内容】 石川（能登）の食材を使った料理講習会 【時期】 令和7年8月26日、27日 【場所】 金沢（金沢港クルーズターミナル） 加賀（かが交流プラザさくら） 【対象】 調理師・一般 他 当会各ブロックにて各種講習会開催
成果、所感等	能登半島地震で甚大な被害を受けた能登地区の農水産物の現状を知り、地元の食文化を再興するために石川（能登）の食材を使った料理講習会を実施した。 また、地元食材を使用した60品余りのレシピ集を作成し、配布した。 石川（能登）の食文化継承と新しい食を提案する機会となった。

○令和8年度食育事業計画

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	【取組内容】 調理師技術向上研修事業 「能登の食材を使った新しい加賀料理（無形文化財）の提案」 【時期】 令和8年8月27日、9月3日 【場所】 金沢・小松 【対象】 調理師・一般
--	---

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	調理に関する講師派遣
他団体と連携したい取り組み	災害時における炊き出しなどの連携依頼（石川県と協定締結）

事業名	教育研修 地域で安心して暮らし続けられる摂食嚥下ケア						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑮健康寿命の延伸につながる食育の推進 ⑯高齢者に対する食育の推進 高齢者の口腔機能を理解し適切な食支援ができる						

○令和7年度食育事業報告

内 容	(1)「食べたい」をチームで支える！ 高齢者の摂食嚥下ケアと誤嚥予防 対面研修 日時：令和7年10月3日(金)13:30～16:30 会場：石川県地場産業振興センター 講師：公立能登総合病院歯科口腔外科部長 長谷剛志 氏 〃 摂食・嚥下障害看護認定看護師 山森勝美 氏 ねらい：高齢者の「食べる」を支える知識と支援の方法を学ぶ 内容：高齢者の「食べる」のしくみと働き、認知症高齢者の食支援、誤嚥性肺炎予防のための食事姿勢と介助方法 受講者数：73名 (2)在宅医療・介護施設で働く看護職員の支援事業 施設への講師派遣 日時：令和7年7月29日(火)、9月9日(火)、1月20日(火) 会場：介護老人保健施設 あっぷる 講師：金沢大学附属病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 小林良子 氏 ねらい：在宅医療・介護施設等で働く看護職員が安全な食事介助と嚥下評価を知る 内容：嚥下障害のある入居者への食事支援 受講施設：1施設
-----	---

成果、所感等	(1)「口腔ケアをしっかりと細菌を減らし肺炎予防していく」「肺炎や窒息の原因と予防。嚥下体験。本人を知ることが大切と学んだ」「患者さんの口腔内をしっかりと観察する。麻痺のある患者さんへの食支援に活かしていきたい」(2)「食事が進まない要因として環境が大きく影響することを理解でき参考になった」などの感想があった。 いずれの研修も看護専門職として、対象と状況を理解できる力を養い、実践を以て看護の質向上につながる研修となった。
--------	--

○令和8年度食育事業計画

内 容	(1)地域で安心して暮らし続けられる摂食嚥下ケア～生活の基礎となる「食べる」を支える～ 日時：令和8年10月22日(木)13:30～16:30 対面研修 会場：石川県地場産業振興センター 講師：公立能登総合病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 山森勝美 氏 ねらい： 摂食嚥下障害の疾患と看護について学ぶ 内容： 口から食べることの意義、飲み物のとろみつけ体験・嚥下体験、嚥下のメカニズム・摂食嚥下障害について、摂食嚥下機能の悪影響と誤嚥リスクを低下させる薬剤について、誤嚥性肺炎予防のための食事姿勢と介助方法、リスク管理について
-----	---

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	健康づくり・介護イベントへの摂食・嚥下障害看護認定看護師等の派遣
他団体と連携したい取り組み	—

事業名	食文化の継承（笹寿司・昆布巻きづくり）						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(3) ⑦石川の食文化の継承につながる食育の推進						

○令和 7 年度食育事業報告

内 容	①金沢市で祭りの時に押し寿司を作る ・ 次期 6～ 7月 金沢産の笹を採る、洗い・冷凍保存 9～10月 秋祭りの頃に笹寿司を作る ・ 回数 市婦連としての講習会で2回、校下婦人会ごとに5回 ・ 笹寿司について 笹寿司作りは、押し寿司の木枠（箱型）を持ち寄ってもらうと同じ物がない。それぞれの家庭の味として伝承されている。 ②お正月用に昆布巻きを自分で作る ・ 回数 県協議会1回（女性センターフェスティバルにて紹介・販売） 金沢市協議会4回 ・ 昆布巻きについて 昆布の食文化は、北前船によってもたらされたもので、昆布、湯豆腐のだし、おにぎりにとろろ昆布、昆布巻きなど昆布料理が根付いている。
成果、所感等	核家族化してから家庭で、押し寿司を作らなくなってきました。 少ない量でも簡単に作れることを知ってほしい。金沢の良さを若い方々にも体験してほしいです。そのためにも各地での祭りの話を聞くことが大切です！それが食文化の継承だと思います。

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	①押し寿司づくり 講習会2回、校下婦人会ごとに5回以上開催予定。 （内容） ・ 講習会の継続開催 ・ 若い世代への体験・招待 ・ 「金沢まちづくり学生会議」の学生スタッフに参加の声掛けし6月28日の笹採りから参加してもらう。金沢出身以外の学生に体験してもらい、金沢の良さを知ってもらう。 ・ 不動寺小学校の高学年に地域連携授業体験を紹介中。 ②昆布巻き作り 県協議会1回、金沢市協議会4回以上開催予定。
他団体と連携可能な取り組み	—
他団体と連携したい取り組み	—

○他団体との連携(協力)

事業名	口腔機能低下予防に対する取り組み						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(5) ⑮健康寿命の延伸につながる食育の推進						

○令和 7 年度食育事業報告

内 容	- 食支援研修会 2025/9/23（火・祝）石川県歯科医師会館 歯科医師を対象に、ビデオ嚥下内視鏡検査の実習を実施し、嚥下時の咽頭・喉頭周囲・喉頭蓋の動きを確認した。 - 取組内容 - 時期 - 場所 - 対象 - 連携団体 等
成果、所感等	食育支援研修会は、専門職用の研修会ですが、摂食嚥下機能が低下している要介護高齢者等に対し、内視鏡下検査や各種検査などを実施し、個別に対応できるようにしています。

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	- 取組内容 - 時期 - 場所 - 対象 - 連携団体 等
他団体と連携可能な取り組み	
他団体と連携したい取り組み	

事業名	修学旅行生を対象とした「お米が食卓に届くまで」の講義と押しずし作り体験						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(1) ②食を楽しむ力（知る・育てる・選ぶ・調理する・食べる）の育成 (2) ④体験型食育の推進 (4) ⑩子どもを中心とした農林漁業体験活動の促進 (5) ⑭若い世代に対する食育の推進						



○令和7年度食育事業報告

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	◆取組内容 東京都世田谷区の修学旅行生（中学生約100人）に田植えからお米が食卓に届くまでを学ぶ講義を実施し、お米づくりの苦労や食べ物の大切さを学んでもらう。その後、新米の試食を通して食への関心を高めるとともに、農業の魅力や価値を実感してもらう。 講義では田植え、水管理、収穫、脱穀とお米ができるまでの流れを説明。 （本来であれば田に入り、鎌で稲刈り体験もする予定であったが雨で中止） お昼には新米を使ったお弁当を提供。 その後、グループごとに押しずし作りを体験してもらった。 ◆時期 2025年9月25日（木） ◆場所 辰口福祉会館 交流ホール ◆対象 東京都世田谷区立桜木中学校 3年生 約100人 ◆連携団体 能美市 農業関係者
	成果、所感等 近年、学校での田植え実習等がなくなり、お米ができるまでの大まかな流れを知らない子が増えてきている。今回の中学生の中には、田んぼに白米が実っていると思っていた子もいたため、この取組は食への関心を高めるきっかけになったと感じる。生徒からも、中々聞くことができない貴重なお話しが聞けて有意義であったとの感想をいただいた。

○令和8年度食育事業計画

内 容 ・取組内容 ・時期 ・場所 ・対象 ・連携団体 等	田植えや稲刈りなど実際に体験してもらうことで、より記憶に残る取組を実施できればと考えている。 また、昔の機械と現代の機械を見ながら、「昔の米づくりと今の米づくりの違い」を説明し、何が大変だったのか、なぜ変わったのかを知ってもらい、現代の農業に興味を持ってもらえるようにしたい。
他団体と連携可能な取り組み	—
他団体と連携したい取り組み	能美市だけでなく、小松市や加賀市（温泉施設）など他の市町村とも連携して農業の理解を深める活動がしたいです。

事業名	石川の伝統的な食文化について理解を深める学校給食の普及・定着等につながる取組						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(2) ⑥給食を通した食に関する理解促進 (3) ⑦石川の食文化の継承につながる食育の推進 (3) ⑧給食でも郷土料理等の積極的な導入						



○令和 7 年度食育事業報告

内 容	1, 学校における食育の推進 (1) 学校給食に地場産物を使用する (2) 地域産物に係る食に関する指導 2, いしかわの伝統的食文化に関する食育の推進 (1) 学校給食での郷土に伝わる料理の積極的な導入 (2) 郷土料理の歴史、食材などの学ぶ取組
取組内容・時期・場所・対象・連携団体等	
成果、所感等	・学校給食に地場産物を使用した献立を積極的に取り入れた ・ICTを活用した地場産物の指導資料を作成し、児童生徒に指導した ・地場産物の実物展示 ・地場産物を活用した給食や郷土料理のレシピを作成した。学校給食で実施したり、食育だよりや給食だよりにレシピを掲載した

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	1, 学校における食育の推進 (1) 学校給食に地場産物を使用する (2) 地域産物に係る食に関する指導 2, いしかわの伝統的食文化に関する食育の推進 (1) 学校給食での郷土に伝わる料理の積極的な導入 (2) 郷土料理の歴史、食材などの学ぶ取組
取組内容・写真・時期・場所・対象・連携団体等	

○他団体との連携(協力)

他団体と連携可能な取り組み	・地場産物の食材の提供（給食食材として、家庭へ） ・技術講習会での講師依頼 （郷土料理の調理方法、地場産野菜の活用方法など）
他団体と連携したい取り組み	

事業名	口腔機能低下予防に対する取り組み						
対象年代	妊婦 乳幼児	幼児	小学生 中学生	高校生 大学生	若年者 20～30歳代	中高年 40～65歳	高齢者 65歳以上
「第4次いしかわ食育推進計画」の具体的な取り組みに該当する番号	(1) ③子どもの基本的な生活習慣の形成 (5) ⑭若い世代に対する食育の推進						

○令和 7 年度食育事業報告

内 容	学校薬剤師による生徒、教職員、保護者への健康相談、保健指導での活動
成果、所感等	認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等で学校保健委員会や特別授業で各学校薬剤師が担当する

○令和 8 年度食育事業計画

内 容	昨年度と同様に実施
他団体と連携 可能な取り組み	学校栄養教諭と連携をとって行う場合もある
他団体と連携 したい取り組み	—